

第3回川越市オーバーツーリズム対策懇談会

川越市オーバーツーリズム対策事業

令和7年3月27日

川越市 産業観光部 観光課
都市計画部 交通政策課、都市計画課、都市景観課
建設部 道路街路課

令和6年度事業実績

本市の観光特性とオーバーツーリズムによる課題

地域
特性

首都圏内の立地特性

歴史的な街並み

歴史的な道路構造

日帰りが多い

昼間に観光時間が集中

生活交通の場と同一

道路空間が狭隘

ハード整備が困難

保全すべき建造物が多い

まち歩き観光

食べ歩き（歩き食べ）

食べこぼし

道路汚損

住宅地等へ
ごみのポイ捨て

交通渋滞

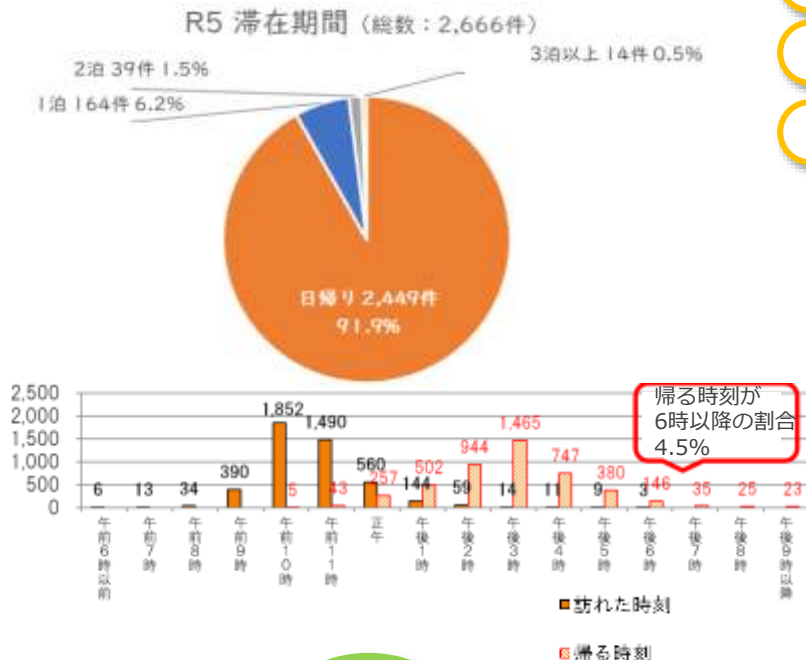
歩行の安全性の低下

地域経済への
寄与が低い

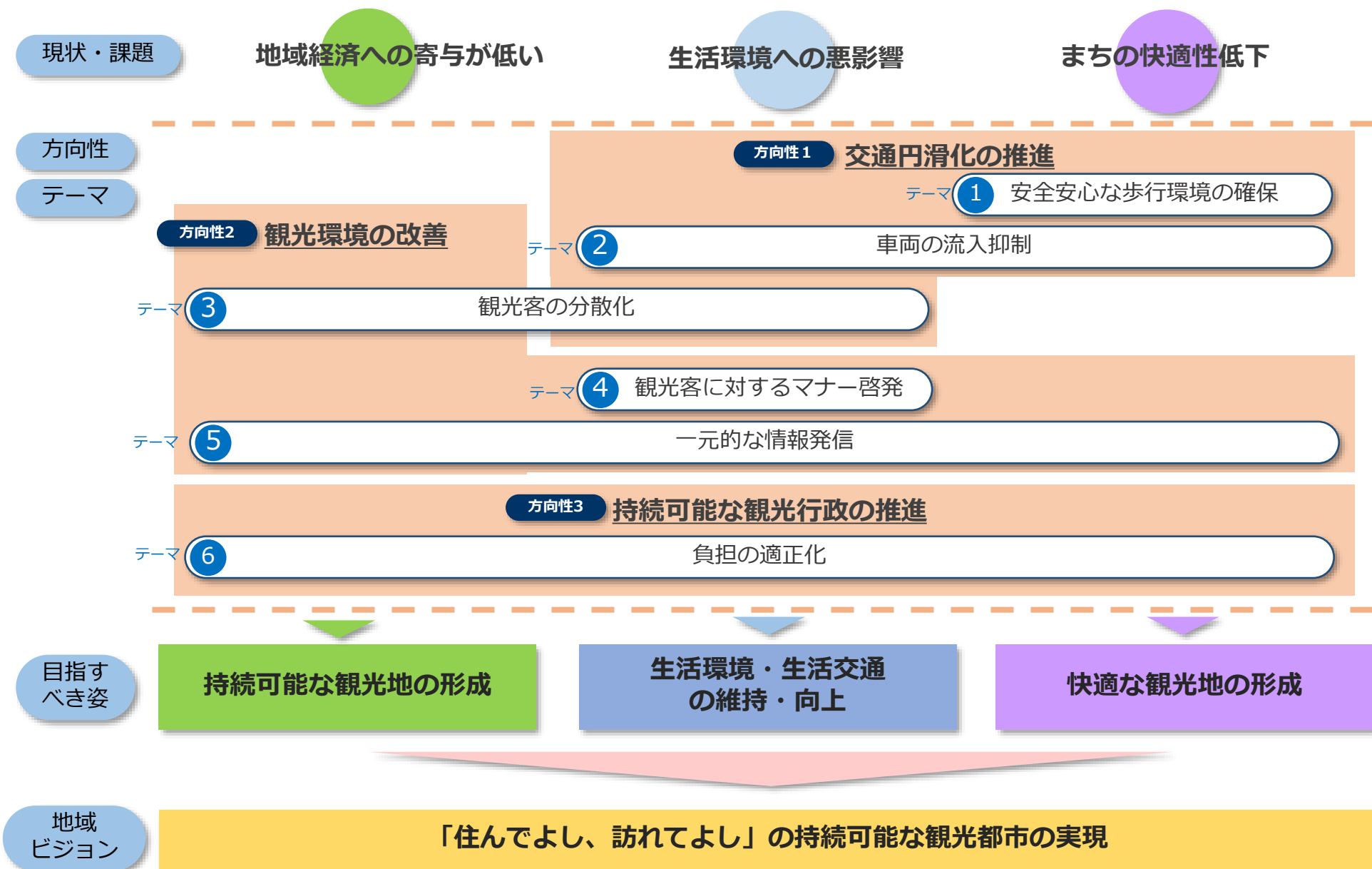
生活環境
への悪影響

まちの
快適性低下

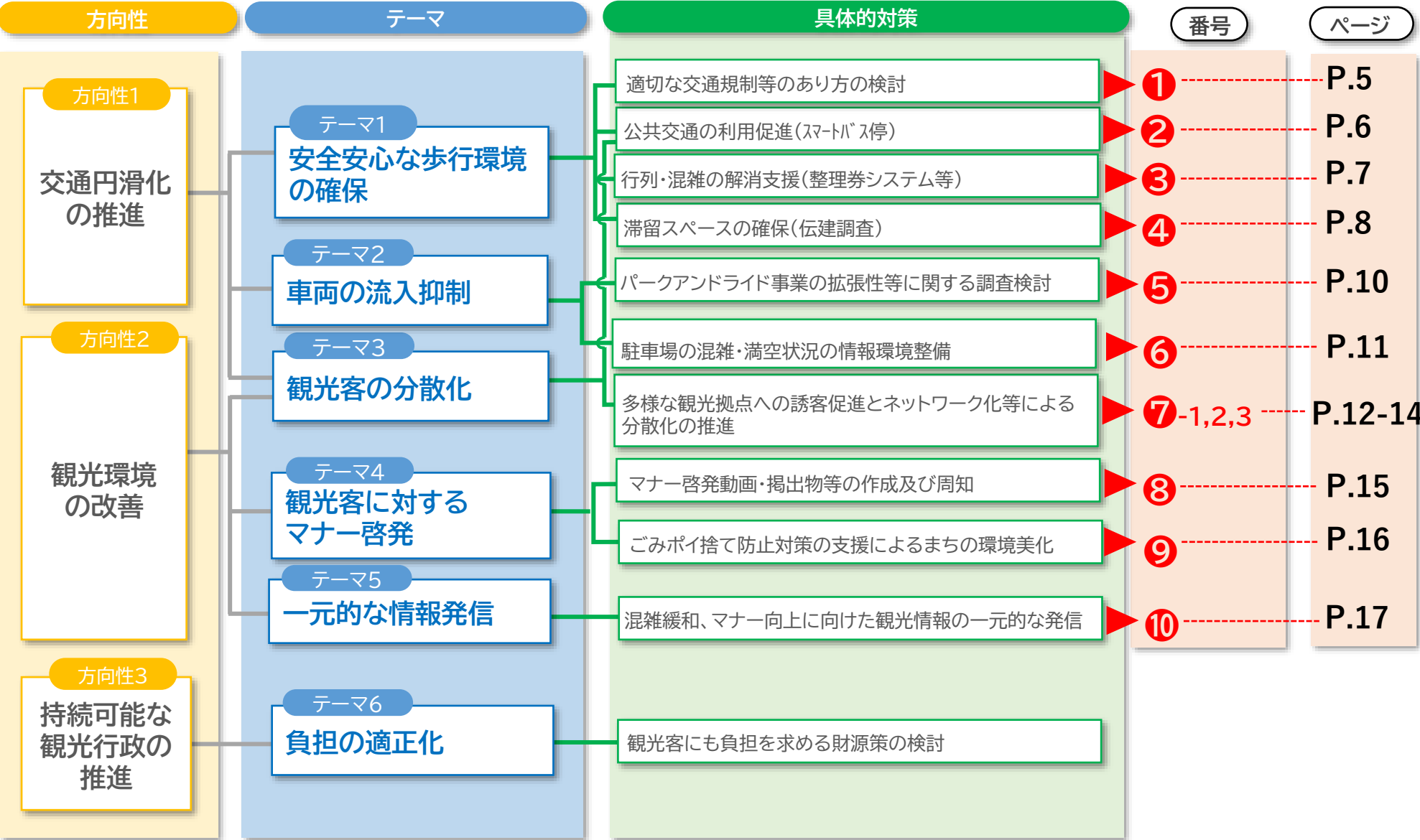
オーバーツーリズムによる課題



本市の観光の現状、方向性・テーマ、目指すべき姿



川越市オーバーツーリズム対策事業



1

適切な交通規制等のあり方の検討

事業概要

一番街周辺における安全・安心な歩行環境の確保と北部市街地における生活環境や生活交通の保全を図るため、交通量調査やそれに基づく交通シミュレーション調査、交通対策に関するアンケート調査を実施し、客観的データや地域の意向を踏まえた北部市街地における適切な交通規制等のあり方を協議・検討するもの。

具体的な取組内容

令和6年9月5日及び7日に交通量調査を実施し、当該結果をもとに交通シミュレーション調査を実施しました。また、アンケートを9月30日に北部市街地21自治会の全世帯(約7300世帯)、11月5日に一番街沿道の商店等(約130件)に実施しました。この結果を踏まえ、北部市街地の自治会代表者と交通規制等のあり方について協議した。

事業実施の効果

交通シミュレーションにより歩行者天国実施時に車両流入を1割抑制することで、周辺交通への影響を抑制できることが確認できた。また、アンケートや協議会の意見等を踏まえ、地域の負担に配慮しながら、交通規制の影響等を把握すべく、令和7年度に歩行者天国を試行的に実施することとなった。

課題点

地域に与える影響が大きい交通規制の実施については、より丁寧かつ慎重な検討が必要であり、令和7年度、歩行者天国の試行的実施の結果をしっかりと検証し、今後の検討に繋げていく必要がある。

令和7年度の予定

**川越・一番街
歩行者天国の試行的実施**
令和7年5月3日(土・祝)～5月5日(月・祝)
午前11時～午後5時



〔実施趣旨〕
賑わいの町並みが広がる一番街周辺は、観光拠点として多くの人が訪れる一方、多数のバス路線が通る幹線道路かつ生活道路でもあり、人と車が混雑する状態となっています。
昨年実施したアンケートでは、一番街の交通規制を継続と希望する方が多く、交通規制の実施について、比較的肯定的な傾向が見られましたが、交通規制の影響が大きい地域では、否定的な意見も一定数ありました。このため、歩行者天国を試行的に実施し、交通規制の実施上の影響等をより丁寧に検証したうえで、今後の一番街周辺の交通のあり方について検討してまいります。

〔実施範囲〕
一番街(札の辻交差点～仲田交差点)

〔実施内容〕
歩行者天国道路(歩行者天国)
※自動車は通行禁止となります。御申し、手で押してご通行ください。

〔実施期間〕
令和7年5月3日(土・祝)～5日(月・祝)
午前11時～午後5時まで

期間中は、迂回する車両で周辺道路の混雑が予想されますので、公共交通機関等をご利用くださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】川越市都市交通政策課 TEL 049-224-5519 (直通) FAX 049-225-9800



※バスの運行に際しては、各バス事業者にご確認ください。
東武バスの東武川越駅西口乗降場 049-222-0671
イグルバス川越駅前乗降場 049-233-3711

2

公共交通の利用促進(スマートバス停)

事業概要

東武バスウエスト㈱が運行するバス路線において、川越駅東口行きの川越市役所前バス停に、運行情報等を表示するバスロケーションシステムや多言語表記の機能を搭載したスマートバス停を設置するに当たり、設置費用の一部を補助するもの。

具体的な取組内容

令和6年10月22日にスマートバス停を設置する東武バスウエスト㈱から補助金交付申請書が市に提出され、10月28日に交付決定を行った。また、11月から12月にかけて、東武バスウエスト㈱が、設置工事を行い、12月23日から供用開始した。

事業実施の効果

利用者に必要な情報を提供し、利用しやすい環境を整備することで、利便性が向上し、公共交通の利用促進並びに自動車から公共交通機関への転換を促進することが期待できる。

課題点

歩行空間を妨げない設置スペースの確保や景観への配慮が必要となり、設置可能なバス停が限定されることが課題となっている。

車道面



サイネージ



令和7年度の予定

設置後の利用者数等の確認を行い、効果検証していく予定。

③

行列・混雑の解消支援(整理券システム等)

事業概要

テイクアウト品の購入または店内飲食待ちの行列が歩道上に頻繁に発生する飲食店舗に対し、交通の安全性の観点から、整理券システムを導入する際の費用を一部補助し、道路上の混雑緩和を図るものである。

具体的な取組内容

商店街との協議を行ったうえで、令和6年11月に補助金交付要綱を制定し、同日から令和7年1月24日まで申請を受け付けた結果、2件の飲食店舗から申請を受け、申請者により整理券システムが導入された。

事業実施の効果

整理券システムの導入に伴い、店舗前の歩道上の行列が解消されたことから、道路上の混雑緩和に一定の効果があった。

課題点

商店街との協議や対象と考えられる店舗への制度説明を行ったものの、本市の店舗に多いテイクアウト形態との親和性は低いとの意見があったこと等から当初の想定件数には満たなかった。今後は他の効果的な行列対策の協議、検討を進める必要がある。



令和7年度の予定

その他の行列対策の必要性を検討するため、商店街との協議を継続する。

4

滞留スペースの確保(伝建調査)

事業概要

伝建地区にはポケットパークや広場が確保されているものの十分でなく、歩道の代替空間となる観光客の滞留スペースの確保が必要な状況である。そこで、観光客の滞留スペースを確保し道路の混雑解消を図ることを目的として、伝建地区内の空地の有効活用についての調査・実証実験等を行うものである。

具体的な取組内容

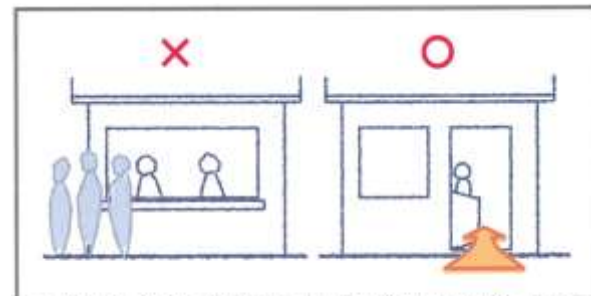
道路の混雑解消に向けた現状把握調査を行い、一番街商店街を始めとした地域の関係者からの意見を踏まえ、近年増加傾向にある店頭の立看板やのぼり旗の有無が観光客の滞留や道路の混雑に与える影響を確認するため、休日、平日延べ4日間の実証実験を実施した。

事業実施の効果

店頭に立看板やのぼり旗が無いことによって、店頭に滞留スペースが確保でき、観光客が道路内よりも敷地内に滞留する割合が増えたことで、道路の混雑解消に一定の効果があった。

課題点

実証実験にて実施したアンケート調査では、「店頭に立看板がある方が分かりやすくて良い。」という意見がある一方で、立看板が無い方が「歴史的町並みの景観として好ましい。」といった意見もあり、立看板やのぼり旗のあり方について検討が必要である。



川越町並み委員会（都市景観推進団体）の
自主ルール【町づくり規範の例】

➤店舗導入部の空間づくり

対面販売や建物の前に屋台を出すなどの無店舗販売はこれまで川越では見かけなかった販売方法になります。極力、店内に引き込む形の商売に心掛けましょう。

出典 川越町並み委員会 町づくり規範エッセンス版2023

令和7年度の予定

現状把握調査と実証実験の結果をもとに、伝建地区内の道路の混雑解消に向けて、地域の関係者との協議を行う。

4

滞留スペースの確保(伝建調査)

実証実験の様子

立看板有り

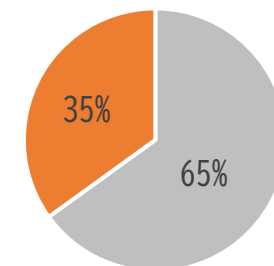


令和6年12月22日(日)・23日(月)



【店頭の滞留状況】

■店舗前で滞留する人数の割合



敷地内 道路内

立看板無し

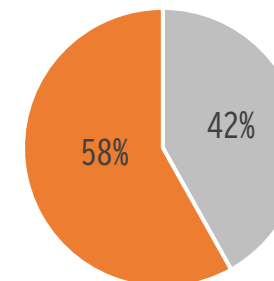


令和6年12月15日(日)・16日(月)



【店頭の滞留状況】

■店舗前で滞留する人数の割合



敷地内 道路内

5

パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討

事業概要

ナンバープレート調査により中心市街地に流入する車両の登録地、通過時間、台数等を把握したうえで、北部市街地内の駐車場の立地や利用状況を調査し、観光用駐車場のあり方について整理するとともに、民間駐車場も含めた既存の駐車場やバス路線を活用したパークアンドライド事業の導入可能性について調査・検討を行うもの。

具体的な取組内容

11月9日にナンバープレート調査及び一番街周辺の駐車場利用調査を実施。その後、北部市街地周辺の駐車場立地調査やパークアンドライド事業の拡張性調査、パークアンドライド駐車場登録制度や予約型駐車場シェアリングサービス、駐車場立地抑制策に係る先進事例調査を実施し、調査・検討結果を報告書として整理した。

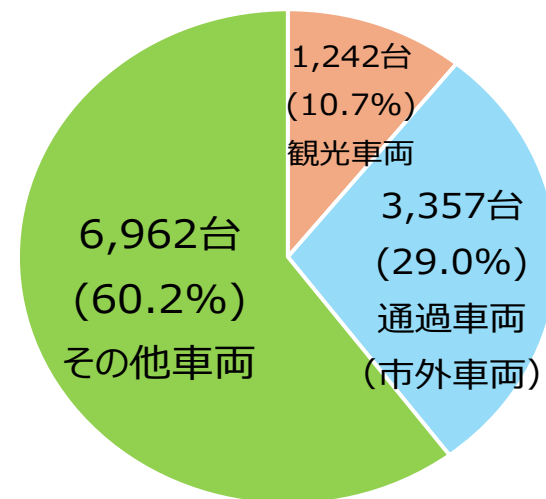
事業実施の効果

観光車両だけでなく、通過車両も含めた流入抑制対策の必要性、目指すべきまちの将来像を踏まえた駐車場立地抑制策の検討の必要性、郊外型駐車場の運用における広報の重要性、まちづくりや観光振興、交通対策が連携した取組の必要性等、今後の駐車場施策に係る方向性を整理することができた。

課題点

- ・北部市街地への流入車両は、観光車両よりも通過車両の占める割合が多く、通過車両も含む流入抑制対策が必要。
- ・通常の休日には駐車場の不足は確認できず、駐車場立地抑制策の検討と合わせた郊外型駐車場の検討が必要。

ナンバープレート調査による観光車両の割合



※観光車両は、市外ナンバーで、北部市街地周辺に30分以上滞在した車両が対象

令和7年度の予定

歩行者天国の試行的実施に合わせ、事前周知の徹底や迂回誘導案内により、通過交通を含む車両流入抑制対策を実施。

6

駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備

事業概要

観光客の利用率が高い市庁舎北側・南側駐車場及び市内観光用駐車場において、混雑や満空状況を発信、収集するシステムを整備するものである。なお、情報の発信にはデジタルマップ等と連携しリアルタイム情報として観光客へ提供するもの。

具体的な取組内容

市庁舎駐車場及び市内観光用駐車場へ満空情報を発信するシステムを導入。

令和7年1月14日からデジタルマップが公開され、駐車場混雑や満空状況がリアルタイムな情報として観光客へ提供された。

市内観光用駐車場には満車時間等を集計するシステムを併せて導入。

事業実施の効果

駐車場満空状況をデジタルマップに発信したことで、駐車場のリアルタイム情報を観光客へ提供することが出来たため、一定の車両が混雑を回避できたのではないかと考えられる。

課題点

デジタルマップの1日当たり平均利用者は220人/日(3月1日時点)。デジタルマップ利用者増加が駐車場満空状況の周知に直結するため当マップの周知を図っていくことが課題である。

駐車場の状況を
リアルタイムで提供



令和7年度の予定

- ・情報発信システムの継続
- ・集計データに基づく駐車場混雑予想
- ・民間Pの満空情報発信の環境整備検討

7-1

具体的対策:多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化等による分散化の推進

都市計画道路中央通り線の無電柱化に関する調査検討

事業概要

一番街に隣接する「昭和の街」では、歴史的な街並みの保全を考慮し、現道幅(11m)を前提としたまちづくりについて地元と意見交換してきた。この経緯を踏まえ、歩行環境の改善を図るため、(都)中央通り線の仲町交差点から連雀町交差点(昭和の街)の無電柱化事業を実施する。令和6年度は無電柱化事業を実施するための調査業務を行った。

具体的な取組内容

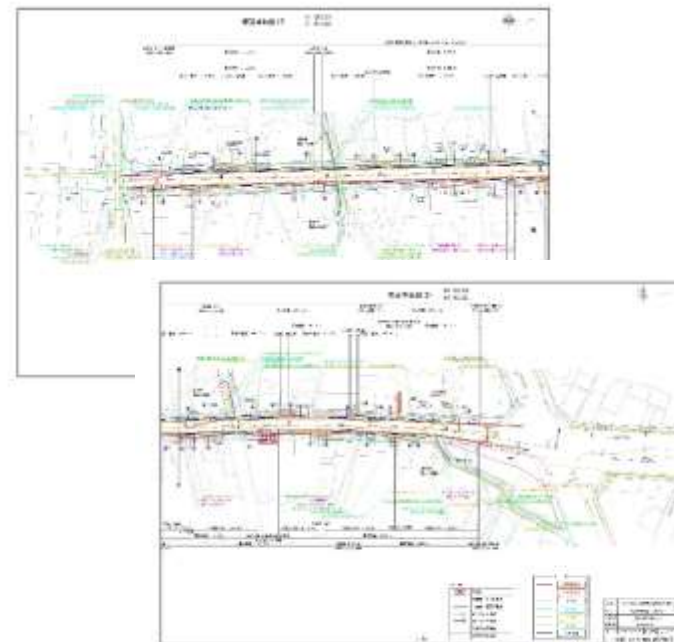
- ・無電柱化の手法選定(地中化・裏配線・軒下配線など)
- ・埋設物情報の集約図化
- ・概略平面図作成

事業実施の効果

無電柱化手法の確定及び複数の管理者が所有する埋設物情報が一元化された。この成果は予備設計、詳細設計の基礎となる。

課題点

本事業を推進するにあたり地元の協力は不可欠であるため、地元との丁寧な協議を行い、理解を得ながら進める必要がある。



無電柱化概略平面図

令和7年度の予定

無電柱化事業を実施するための道路予備設計及び歩行者交通量調査

7-2

具体的対策：多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化等による分散化の推進

歩行環境の改善による回遊性の向上に関する調査検討

事業概要

本事業は、地域の魅力の向上や居住環境を高める取組として、無電柱化の推進等、歩行環境の改善による回遊性の向上を図ることを目的に、現地調査等による課題の整理や整備手法などの検討を行うものである。

具体的な取組内容

令和6年8月に業務委託の契約締結し、現地踏査、現況の問題点、道路交通課題の整理、及び、歩行者等の回遊性の向上の方策として、対象地区の道路交通課題を踏まえ、舗装の美装化や無電柱化など、地域性に考慮した改善手法の策定を行った。

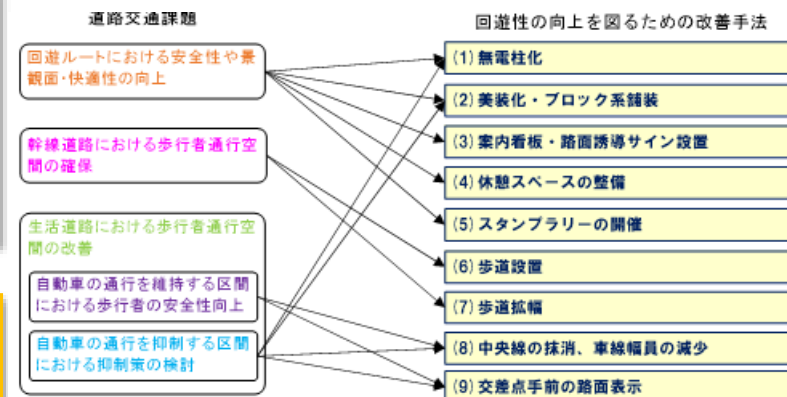
事業実施の効果

歩行環境の改善による回遊性の向上のみならず、都市防災機能の強化及び電柱・電線のない都市景観を形成することにより、観光事業や魅力ある街並みの推進が図れるなどの効果が見込まれる。

課題点

回遊性の向上に向けた整備を実施するためには、関連する事業が多岐にわたることや、綿密な調整、協議等が必要であるため、実施に至るまでに時間を有することが考えられる。

改善手法の選定（案）



対策（無電柱化及び美装化）のイメージ
※R6は調査検討業務



令和7年度の予定

今年度の調査検討結果を踏まえ、引き続き歩行環境の改善に向け、調査検討を進める予定である。

7-3

具体的対策:多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化等による分散化の推進

多様な観光拠点への誘客促進

事業概要

日中の一番街周辺部に集中する観光客を、AR等のデジタル技術を活用することで、喜多院周辺地域、川越城周辺地域及び伊佐沼地域等の観光拠点への分散を促進するものである。また、喜多院及び氷川神社へ誘導する観光誘導看板を設置するものである。

具体的な取組内容

- 喜多院、川越城、伊佐沼、城下町公園(あぐれっしゅ川越)、浮島稻荷神社でデジタルスタンプラリーなどのAR体験型コンテンツ(WebAR)を令和7年1月10日から運用開始。
- 1月18日及び19日に3会場(喜多院、川越城、グリーンツーリズム拠点施設)でAR体験イベント(AR塗り絵等)を開催。
- 喜多院エリア9箇所、氷川神社エリア4箇所に観光誘導看板を設置。

AR体験型コンテンツ



AR体験イベント



観光誘導看板



AR体験型コンテンツポスター



事業実施の効果

AR体験型コンテンツ

3箇所以上のAR体験者数:36人(1月10日~2月28日)

課題点

AR体験型コンテンツ

参加者数の少なさから、プロモーション不足

令和7年度の予定

導入したAR体験型コンテンツを継続して周知
小江戸川越観光協会との事業連携

⑧ マナー啓発動画・掲出物等の作成及び周知

事業概要

マナー啓発に係る動画及び掲出物を作成し、小江戸川越WEB等による動画配信と観光案内所・商店街等で啓発物を掲出し観光客のマナー向上を図る。

具体的な取組内容

- 市公式HP、SNS、小江戸WEB等において、啓発動画および観光文化配信動画の配信を開始した。
- ステッカー、卓上ミニのぼり旗、ミニポスターを作成し、蔵造りの町並み周辺の商店街に配布し各店舗において掲出した。

事業実施の効果

動画のSNSインプレッション数合計約36,500、Youtube再生数は合計約1,000回(1月10日～3月5日)であり、旅前と旅中において、観光客の方にご覧いただき、以前よりマナーに対する意識が向上し、生活環境の改善の一助になっていると考えられる。

課題点

啓発動画や啓発物は認知されつつあるが、より多くの人目に触れるよう工夫が必要である。また、啓発品については、店舗によりお困りごとが異なることや、掲出場所の確保等、利用率がまだ低いことが課題である。



令和7年度の予定

動画配信および啓発品の掲出を継続とさらなる周知
(一社)DMO川越との連携

マナー啓発動画(60秒)視聴

観光文化配信動画
(ショートVer:38秒)視聴

9

ごみポイ捨て防止対策の支援によるまちの環境美化

事業概要

ごみポイ捨て防止対策に関連する事業(広告付きごみ箱の設置等)を実施する際の費用を一部補助し、まちの環境美化を図る。

具体的な取組内容

令和6年12月に補助金交付要綱を制定し、令和7年1月24日まで申請を受け付けた結果、以下の団体から申請を受け、ゴミポイ捨て防止活動が実施された。

- ・スマートごみ箱設置: 2団体
- ・商店街等の自主的な取組: 3団体

事業実施の効果

スマートごみ箱の設置後、特に鍛冶町広場については、当初の想定より大幅な利用がなされていることから、蔵造りの町並み周辺部のごみのポイ捨て防止に繋がっていると考えられる。

課題点

ごみの収集運搬費用の負担軽減のための収益の確立
その他の継続的な環境美化対策の実施

スマートごみ箱設置
＜鍛冶町広場＞



＜小江戸蔵里＞



商店街等の自主的な取組み
＜例: 清掃用具の購入＞



令和7年度の予定

- ・環境美化活動の支援
- ・商店街等との協議

10 混雑緩和、マナー向上に向けた観光情報の一元的な発信

事業概要

小江戸川越WEBにおいて、交通情報やマナー啓発等に係る掲載コンテンツを充実させるとともに、観光客向けにリアルタイム情報を提供するデジタルマップを作製することにより、一元的な情報発信を実施する。

具体的な取組内容

- ・多様な観光スポット、トイレ情報、市営駐車場のリアルタイムな満空情報を掲載した「小江戸川越観光デジタルマップ」を作成。
- ・小江戸川越ウェブに交通関連情報、デジタルマップ、観光マナー情報、を一元的に集約し、マナー啓発や交通関連情報ページを新規作成。

事業実施の効果

デジタルマップ総PVのうち駐車場の満空情報が約20%を占めており、リアルタイム情報を発信したことにより、駐車場の混雑等から起因する一定の車両の混雑を回避できたのではないかと考えられる。

課題点

デジタルマップの1日の利用者平均が220人程度(3月1日現在)に留まることから、周知が不足している。



令和7年度の予定

- ・デジタルマップの周知
- ・デジタルマップの修正、更新
- ・オーバーツーリズム関連事業との連携

対策の実施から日が浅いこともあり、効果がわかりにくい

ハード対策など具体的な取組実施には更なる時間を要する

観光客にも負担を求める財源策について、具体的な方向性を示すには至っていない

地域の住民・事業者等との協議や観光関連団体との連携が十分でなく、地域のあり方や対策の方向性など、全体的な考え方が共有されていない

継続した取り組みの必要性

オーバーツーリズム対策は、短期間で効果が発揮されるものではなく中長期での取り組みが必要

住民・商店街など、関係者が共通認識の下、地域一体で取り組んでいく必要がある

令和6年度に実施した対策(事業)は、ゴールを目指す中でのスタートの部分のものも多く、次のステップへ進めていくもの、また、継続していくことで効果が発揮されるものもあり、改善を図りながら引き続き実施していく必要がある

令和7年度事業計画案

令和7年度の取り組みの考え方・取組内容（案）

方向性

全般 全般

方向性1

交通円滑化 の推進

方向性2

観光環境 の改善

方向性3

持続可能な 観光行政の 推進

● 全般

考え方

令和6年度の実施結果を踏まえ、**改善を図りながら取組みを継続**する。また、住民・商店街等との協議に重点を置き、「目指すべき姿」や方向性、取組みに対し共通認識を図る。

小江戸川越観光協会、DMO川越も事業に加わることで**地域一体での取組**とする

取組内容

- ① オーバーツーリズム対策の方向性を包含した次期観光振興計画を策定
- ② オーバーツーリズム対策懇談会の定期的な開催により、共通する価値観等を踏まえた、地域全体での合意形成・共有を図る
- ③ 人流データ等による観光客の分析(DMO川越)

● 方向性1 交通円滑化の推進

考え方

中長期的であるが着実に推進すべき混雑緩和策を中心に、安全安心な歩行環境や車両の流入抑制の検討により**生活交通の維持・向上を目指す**

取組内容

- ① 一番街周辺交通対策(歩行者天国の試行的実施)
- ② 駐車場のあり方 車両の流入抑制に向けた無料観光駐車場や幸町駐車場をはじめとした駐車場のあり方、活用方策について検討
- ③ 駐車場満空情報を民間コインパーキングに拡大(一部) など

令和7年度の取り組みの考え方・主要内容（案）

方向性

全般
全般

方向性1

交通円滑化
の推進

方向性2

観光環境
の改善

方向性3

持続可能な
観光行政の
推進

●方向性2 観光環境の改善

考え方

事故やトラブルの発生等により地域の価値を損なうような事態を招かないよう、即効性の高い取組を中心に実施するほか、**観光客の分散化により観光環境の改善を図る**

取組内容

- ①無電柱化の推進 ②ARコンテンツの充実による分散化
- ③夜間コンテンツ磨き上げ ④マナー啓発・周知 ⑤川越観光の心得づくり
- ⑥商店街の環境美化活動補助 ⑦デジタルマップの充実 など

●方向性3 持続可能な観光行政の推進

考え方

観光客にも経費を負担していただく方策について、川越の観光の特性を踏まえた適正な負担について検討する（庁内検討継続）

取組内容

- ①新たな財源の必要性 ②様々な財源（法定外税、協力金等）
- ③川越観光の特性～着目すべき項目は何か ④使途の検討 ⑤シミュレーション

川越市オーバーツーリズム対策事業 令和6年度の実施状況、令和7年度以降の実施予定

令和7年3月現在

No	具体的対策（R6予算額）	担当課	R6実施状況（R6執行額）	実施結果、成果、効果	R7実施予定	R8以降の予定	目指すべき姿・効果
①	適切な交通規制等のあり方の検討 (31,591千円)	交通政策課	交通量調査実施(R6.9実施済)、アンケート調査実施(R6.9&11済)、北部交通対策協議会の開催(①R6.12済、②R7.1済) (17,600千円) 交通シミュレーション調査実施(R6.12済) (6,490千円) 計24,090千円	交通量調査に基づく交通シミュレーション結果では、歩行者天国にしても車両流入を1割抑制することで、周辺交通への影響を抑制できることが確認できた。また、アンケートや協議会の意見等を踏まえ、地域の負担に配慮しながら、交通規制の影響を把握すべく、令和7年度に歩行者天国を試行的に実施することとなった。	①-1 一番街周辺交通対策 (歩行者天国の試行的実施 R7.5&11予定) ①-2 北部市街地交通対策連絡協議会の開催	交通対策の実施	安全安心な歩行環境の創出 北部市街地周辺の生活交通生活環境の保全 公共交通の利用促進
②	公共交通の利用促進(マートバス停) (2,670千円)	交通政策課	川越市役所前バス停(川越駅方面)へのスマートバス停設置(R6.12済) (2,400千円)	利便性が向上し、一定程度、利用促進が図られた。 川越市役所前バス停の乗降客数(交通系IC) ・令和6年1月:7,444人 ・令和7年1月:7,534人(90人増)	②設置後の利用者数確認による効果検証	発信情報の充実 スマートバス停拡充の検討	
③	行列・混雑の解消支援(整理券システム等) (2,000千円)	観光課	整理券システム導入補助(328千円) R7.2済	10店舗導入見込⇒2店舗導入 ※整理券システムの需要がない可能性有	その他行列対策の必要性の検討 ③商店街との協議	令和7年度の検討結果の実行	
④	滞留スペースの確保(伝建調査) (3,000千円)	都市景観課	伝建地区内の低利用空地調査等業務委託 (2,981千円) ・低利用空地実態調査(R6.12済) ・実証実験実施(R6.12済)	R6.12実証実験(私の辻～仲町交差点) ・店頭の立看板・のぼり旗の一時撤去 【歩道に滞留する人数の割合】 58%⇒35%に減少	R6調査成果を基に、滞留空間の確保に向けて ④地元関係者と協議	滞留空間の確保に向けた関連商店街や関係団体による自主的なルール化への支援	
⑤	パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討(20,023千円)	交通政策課	ナンバープレート調査実施(R6.11済)、駐車場利用状況調査(R6.11済)、観光用駐車場のあり方検討(R7.1済)、パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討(R7.1済) (14,014千円)	通過車両も含めた流入抑制対策や目指すべきまちの将来像を踏まえた駐車場立地抑制策の検討の必要性、郊外型駐車場の運用における広報の重要性、まちづくりや観光振興、交通対策が連携した取組の必要性等、今後の駐車場施策に係る方向性を整理した。	⑤-1 観光用駐車場のあり方検討結果を踏まえ、現状の混雑状況を精査し、具体策検討 R6調査結果を基に、北部市街地の車両流入抑制方策の検討 (⑤-2 幸町駐車場等の市有地利活用含む)	まちづくりや観光振興、交通対策が連携した車両流入抑制対策の推進	北部市街地への車両の流入抑制による交通渋滞の緩和
⑥	駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備(16,577千円)	観光課	市役所南北駐車場、郊外型駐車場 情報発信機器・表示灯設置(16,324千円)R6.12済 ※デジタルマップでの情報発信	駐車場現地およびデジタルマップにて満空情報が確認できるようにになった。 デジタルマップPV数 2月:13,160PV 駐車場関係ページPV数 2月:1,785PV ※全カテゴリーで1番見られているため、追加情報発信を検討	⑥-1 市営駐車場の満空情報の発信 ⑥-2 民間駐車場の満空情報の発信 ※デジタルマップにて発信	令和7年度の検討結果の実行	
⑦	都市計画道路中央通り線の無電柱化に関する調査検討(5,000千円)	都市計画課	無電柱化の手法選定、埋設物情報の集約図化 R7.1済(4,389千円)	無電柱化の手法選定、埋設物情報の集約図化、予備設計や詳細設計等の基礎資料とする	⑦-1 道路予備設計・歩行者交通量調査 ⑦-2 電線管理者・埋設物管理者との協議	無電柱化予備設計 無電柱化・道路の詳細設計 都市計画変更手続き、工事等	
⑧	歩行環境の改善による回遊性の向上に関する調査検討(9,000千円)	道路街路課	現地踏査、問題点・課題の整理 無電柱化計画書素案作成(R7.1済) 調査業務委託(7,656千円)	歩行者空間改善のための方策の検討 「川越市無電柱化計画書」の素案策定	⑧無電柱化推進事業調査設計	計画方針等の立案	観光客の分散化・回遊性の向上 滞在時間の延伸
⑨	多様な観光拠点への誘客促進 (10,000千円)	観光課	ARデジタルスタンプラリー事業 (9,295千円) ※AR事業 R7.1.10～ 喜多院・氷川神社看板設置(687千円) ※R7.1済 計9,982千円	1月10日～31日の観光客数前年比較 ・喜多院付近 4,877人増 ・本丸御殿、氷川神社付近 8,234人増 ・伊佐沼付近 4,541人増 ※分散化コンテンツの継続と磨き上げが必要	⑨-1 ARコンテンツ運用継続による周知・分散化の推進 ⑨-2 新たな観光ルート設定等による既存の観光拠点の魅力磨き上げ ⑨-3 夜間コンテンツ磨き上げ・夜間滞在の推進	分散化事業企画立案	
⑩	マナー啓発動画・掲出物等の作成及び周知(2,000千円)	観光課	動画・掲出物の作成・公開・配布 (1,793千円) ※R7.1済	マナー啓発動画再生数(3/10 現在) ・観光文化発信動画 406回再生 ・マナー啓発動画 429回再生 ※再生数を増やすために再度周知が必要	動画配信・啓発品掲出の継続による周知 ⑩川越観光の心得づくり事業	動画配信先等の拡大の検討 継続的なマナー啓発の実施	観光マナーの向上、まちの環境 美化による持続可能な観光の 推進と市民の生活環境の維持 向上の両立
⑪	ごみボイ捨て防止対策の支援による まちの環境美化(10,600千円)	観光課	スマートごみ箱設置補助(7,599千円) ごみボイ捨て防止取組補助(238千円) ※両事業R7.1済 計7,837千円	スマートごみ箱 2台設置(鍛冶町広場、小江戸蔵里) ごみボイ捨て防止取組補助 10件見込⇒3件補助 ※ごみボイ捨て防止取組補助は周知不足により件数が少なかったため周知が必要	⑪-1 商店街等の環境美化活動に対する活動補助 ⑪-2 商店街等との今後の対応の協議	商店街等による継続的な環境美化活動の実施 令和7年度の協議結果の実行	
⑫	混雑緩和、マナー向上に向けた観光 情報の一元的な発信(7,457千円)	観光課	デジタルマップ作成(6,193千円) ※R7.1.14～開始 小江戸川越WEB改修補助(1,257千円) ※R7.1済 計7,450千円	[デジタルマップPV数] 1月14日～31日 5,502PV 2月 13,160PV 3月1日～10日 4,055PV ※一定数は閲覧されているが、より発信強化が必要	⑫-1 アクセス解析・情報発信の強化 ⑫-2 混雑予測の情報発信 ⑫-3 デジタルマップの維持管理・充実 ※市営・民間駐車場の満空情報発信(再掲)	関連団体等とともに効果的な情報発信 について協議・検討	一元的な情報発信による観光 客の交通手段、来訪時間、訪問 先等の行動変容の促進

令和7年度 川越市オーバー ツーリズム対策事業案

課題・方向整理

令和6年度の対策事業はゴールを目指す中でスタートの部分のものが多く、次のステップへ進めていくもの、継続していくことで効果が発揮されるものもあり、改善を図りながら引き続き実施していく必要性

令和7年度の方針性

地域全体で共有・実践できる方向性を再度精査しながら、引き続き課題に対応

令和7年度 オーバーツーリズム対策事業

具体的対策

地域全体での共有・実践

…観光庁補助を受けて実施予定の事業

観光課

① 持続可能な観光振興計画の策定

オーバーツーリズム対策の中長期的ビジョンを包含

③ オーバーツーリズム実態調査・分析

①-1 一番街周辺交通対策

② 利用者数確認による効果検証

交通政策課 北部市街地の流入抑制方策の検討

観光課 ⑤-1 観光用駐車場活用検討

⑤-2 観光客混雑区域内市有地の活用方策検討

⑥-1 市営駐車場の満空情報の発信

⑥-2 民間駐車場の満空情報の発信

⑦-1 道路予備設計・歩行者交通量調査

⑧ 無電柱化推進事業調査設計

⑨-1 AR事業の維持管理・充実

⑨-2 新たな観光ルート設定等による既存の観光拠点の魅力度磨き上げ

⑨-3 夜間コンテンツ磨き上げ・夜間滞在推進事業

⑩ 川越観光の心得づくり事業

⑪-1 商店街等の環境美化活動に対する補助

⑫-1 アクセス解析・情報発信の強化

⑫-2 混雑予測の情報発信

⑫-3 デジタルマップの維持管理・充実

財源策の検討

全般

② 川越市オーバーツーリズム対策懇談会での意見聴取

川越市観光振興計画審議会への諮問

①-2 北部市街地交通対策連絡協議会の開催

行列対策

③ 北部市街地内7商店街等との協議

④ 地元関係者との協議

北部市街地内7商店街等へのヒアリング

⑦-2 電線管理者・埋設物管理者との協議

関連商店街との協議

ごみ・マナー対策

観光関連団体との連携

観光関連団体との連携

⑪-2 商店街等の関連団体の支援・連携

観光関連団体事業(小江戸川越WEB)との連携

観光関連団体事業(小江戸川越WEB)との連携

観光関連団体事業(小江戸川越WEB)との連携

方向性

方向性1

交通円滑化の推進

方向性2

観光環境の改善

方向性3

持続可能な観光行政の推進

テーマ

テーマ1

安全安心な歩行環境の確保

テーマ2

車両の流入抑制

テーマ3

観光客の分散化

テーマ4

観光客に対するマナー啓発

テーマ5

一元的な情報発信

テーマ6

負担の適正化

令和6年度 具体的対策

① 適切な交通規制等のあり方の検討

② 公共交通の利用促進(スマートバス停)

③ 行列・混雑の解消支援(整理券システム等)

④ 滞留スペースの確保(伝建調査)

⑤ パークアンドライド事業の拡張性に関する調査検討

⑥ 駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備

⑦ 都市計画道路中央通り線の無電柱化に関する調査検討

⑧ 歩行環境の改善による回遊性の向上に関する調査検討

⑨ 多様な観光拠点への誘客促進

⑩ マナー啓発動画・掲出物等の作成及び周知

⑪ ごみポイ捨て防止対策の支援によるまちの環境美化

⑫ 混雑緩和、マナー向上に向けた観光情報の一元的な発信

観光客にも負担を求める財源策の検討

令和7年度のスケジュール案

令和6年度 令和7年度 令和8年度

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 ...

懇談会

懇談会

令和6年度事業報告
令和7年度事業計画案

懇談会

令和7年度実施
予定事業の説明等

※①
協議会

懇談会

・個別協議の進捗報告
・令和8年度事業計画案(概要)

※①
協議会

懇談会

令和7年度事業報告
令和8年度事業計画案

懇談会

個別協議

・行列対策、ごみ・マナー対策に
係る商店街等との協議 等

令和
6年度
事業

令和7年度事業

国補助対象事業

令和8年度事業

国補助
金
交付決定

国補助事業
実績報告

※① 協議会
北部市街地交通対策連絡協議会

事業目的・背景・課題

- 国内外の観光需要が堅調に回復する中で、一部の地域や時間帯等によっては、観光客の過度な混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度の低下への懸念も生じている状況であり、適切な対処が必要。
- 観光客の受け入れと住民の生活の質の確保を両立しつつ、持続可能な観光地域づくりを実現するには、地域自身があるべき姿を描き、実情に応じた具体策を講じることが有効であり、こうした取組を総合的に支援する。

事業内容

各地域が現在抱えている／今後抱えうるオーバーツーリズムに関する課題について、その未然防止・抑制に向けた様々な取組※を総合的に支援する。

<類型>

- ① **地域一体型**：地方公共団体／DMOが中心となり、地域の観光関係者や住民の参画を得つつ実施する取組を支援。
- ② **実証・個別型**：地方公共団体／DMO／民間事業者等が主体となった取組を支援。（民間事業者等が主体となる場合、地方公共団体との連携が必須）

※(a) 地域における受入環境の整備・増強、(b) 需要の適切な管理、(c) 需要の分散・平準化、(d) マナー違反行為の防止・抑制、(e) 地域住民と協働した観光振興に係る取組（いずれも調査・実証事業を含む。）を対象とする。

事業スキーム

- ・事業形態：①、②ともに間接補助事業
- ・補助対象：国→民間事業者（事務局）

→①地方公共団体、DMO

補助率等：1地域あたり400万円まで定額、補助率 $2/3$ （※）、 $1/2$ 、上限額：8,000万円

※申請主体が持続可能な観光に取り組む地域である場合（日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）ロゴマークを取得済又は取得予定）

→②地方公共団体、DMO、民間事業者等

補助率等： $1/2$ 、上限額：5,000万円

事業イメージ

